

山形に住もう。 山形に帰ろう。



山形さ
きてけろ
(山形に来てください)



農家民宿「いろり」(飯豊町中津川)

山形県おもてなし課長 きてけろくん

山の向こうの、もうひとつの日本 山形

東京や大阪の大都市でもない、京都や奈良でもない、山の向こうにある、ゆとりとうるおいがあふれる「ふるさと、山形」。実り豊かに微笑する大地、東洋のアルカディア（理想郷）と言われた美しい山形で暮らしてみませんか。

自然がいっぱい



ブナ天然林の広さ
全国第1位※3

(15万 ha, 全国の16%)

滝の数(5m以上)
全国第1位※4

(230ヶ所, 全国の9%)



人口 114万人 (全国 35位)

面積 9,323km² (全国 9位)

東北地方の日本海側にあり東京から約2.5時間の立地。寒暖差のある気候で、甘みが増す果物をはじめ、おいしい食べ物が自慢の県である。



助け合いの県民性



ボランティア活動の年間行動者率

(10歳以上) 全国第1位※5

(35.3%, 全国平均26.3%)

3世代同居率

全国第1位※6

(21.5%, 全国平均7.1%)



安全安心です

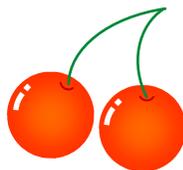
刑法犯認知件数 全国第45位※5

(5.2人/千人 全国平均 10.8人/千人)

刑法犯検挙率 全国第1位※5

(60.4% 全国平均 31.7%)

おいしい山形



さくらんぼ

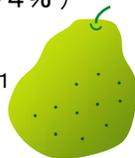
生産量 全国第1位※1

(全国の74%)

ラ・フランス

洋なし生産量 全国第1位※1

(全国の60%)



はえぬき、つや姫

はえぬき 特A 連続21年※2

〔特A連続21年以上は、「山形産はえぬき」と「新潟県魚沼産こしひかり」だけ〕

つや姫 特A デビュー以来5年連続※2



山形の暮らしが魅力になる

JOIN「一般財団法人 移住・交流推進機構」

総括参事 石川智康さん

JOINとは

自治体や企業が中心となって移住や交流の希望者に対して情報、サービスを提供する組織。「ニッポン移住・交流ナビ」を開設して情報を発信している。1月には東京で移住交流フェアも予定している。

移住推進のポイント

都会の人たちの価値観が変わってきている。お金中心ではないライフスタイルが増えてきており山形の農村の暮らしが魅力になる。

興味のある人に対して、わかりやすい情報発信が必要である。

どんな取り組みが必要か

「いきなり移住」はハードルが高い。まず来てもらいたい気に入ってもらおう。その後、リピーターとして交流時間を増やす取組が必要。継続的な交流のためには、ターゲットをしつかり定めることが必要だ。

I、J、Uターンとあるが、まず

はUターンを優先していけばと思う。仕事、家、コミュニティに対する理解のハードルが低い。孫ターンと呼ばれるおじいちゃんおばあちゃんとのつながりも期待できる。

移住したいがどこがいいだろうという相談もある。色々なニーズに対応した受け皿づくりも必要となる。



石川智康さん

農山村と都市企業との橋渡し役となる農都交流プロジェクト2015プロデューサーのほか、県内では飯豊町ニューツーリズムアドバイザー、鮭川村農都交流プロジェクトアドバイザーに就任されている移住・交流の第一人者。

山形県 移住・交流ポータルサイト すまいる山形暮らし情報館

山形暮らし

検索

<http://www.pref.yamagata.jp/yilife/>



山形の
移住・交流
情報は
ここで
チェック

山形を知る

県のプロフィール
アクセス
写真館

住む

住まい
空き家バンク

仕事

起業
就職
就職農

暮らす

子育て
医療
老人ホーム等
支援制度
冬の山形暮らし
地域での取り組み
田舎暮らし辞典

山形暮らし体験

体験プラン
田舎暮らし体験住宅
移住・交流ツアー

移住者 体験談

相談する

コンシェルジュ
山形暮らし相談会・セミナー

地域おこし協力隊 緑のふるさと協力隊

協力隊の紹介・募集

移住のご相談

やまがたハッピーライフ情報センター

東京都千代田区有楽町 2-10-1 (東京交通会館 5階)
TEL 03-6269-9533 FAX 03-6269-9534

[右頁注] ※1:農林水産省「果樹生産出荷統計(2012)」 ※2:日本穀物検定協会 ※3:農林水産省「世界農林業センサス(2000)」 ※4:環境省「第3回自然環境保全基礎調査(1989)」 ※5:総務省「統計で見る都道府県のすがた2015」 ※6:総務省「国勢調査(2010)」